

舞鶴自然文化園の「ツバキの雪囲い」作業について

雪による倒木や枝折れを防ぐため、園内のツバキ約3万本のうち、小さな折れやすいツバキに、竹の支柱を立てる雪囲い作業を行う季節がやって来ました。

舞鶴自然文化園の初冬の風物詩でもあるこの作業は下記の日程で行いますのでお知らせいたします。

作業期間 : 12月7日(金)～2週間程度 *土日を除く

作業時間 : 午前9時頃～午後4時頃(天候を見ながら調整)

作業人員 : 公社職員8名

*上記期間後も作業は、園内に散会して続きます。

*撤去は3月上旬頃です。

「ツバキの雪囲い」概要

- ・ツバキを3本の竹で円錐状に囲い(高さ約2m)
先端を棕櫚縄(しゅろなわ)で結ぶ。
- ・円錐の周囲に棕櫚縄の輪を約20～30cm間隔で作り、
中のツバキに雪がかかるのを防ぐ。(枝折れ予防)
- ・ツバキの枝を、竹に棕櫚縄で直接結ぶこともある。
- ・作業ペースは1日60本～100本程度

